

第6章 農工商教育を行う高校が取り組む具体的な活性化・魅力化策

令和2年度から令和6年度までの5年間に、農工商教育を行う高校が活性化・魅力化に向けて計画的に取り組む内容は次のとおりである。

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
城西高校 【農業科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆学校と地域が協働して人材育成に取り組み、開かれた学校づくりを進めます。 ◇学校が協働した大学・企業・関係機関等の数 (R1) 3件 → (R6) 6件	4件	4件	5件	5件	6件
◆地域農業や農業関連産業の担い手を育成します。 ◇農業及び農業に関係する企業・法人・大学等への就職・進学率 (R1) 10% → (R6) 50%	20%	30%	40%	40%	50%
◆地域課題の解決を目指すプロジェクト学習を推進し、学校農業クラブ活動を活性化させます。 ◇地域課題解決へ向けた課題研究テーマ数 (R1) - → (R6) 6テーマ	2テーマ	3テーマ	4テーマ	5テーマ	6テーマ
◇プロジェクト発表県予選会への出場 (R1) 2件 → (R6) 3件	2件	2件	2件	3件	3件
◆地域の特産物を継承し発展させる6次産業化教育を進めます。 ◇地域の特産物を生かした6次産業化商品の開発数(累計) (R1) 1品 → (R6) 5品	2品	3品	3品	4品	5品
◆国際交流・海外体験の機会を通して、生徒の視野を広げる教育を推進します。 ◇国際交流回数 (R1) 1回 → (R6) 1回以上	1回 以上	1回 以上	1回 以上	1回 以上	1回 以上
◆学校農場の中で農業経営感覚を培い、儲かる農場経営を実践します。 ◇農場収入額 (R1) 970万円 → (R6) 1,100万円	980 万円	990 万円	990 万円	1,000 万円	1,100 万円
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆徳島大学や農林水産総合技術支援センター、関係機関、農業法人、企業等と連携して、先端技術に関する学習を充実させます。 ◇見学研修回数 (R1) 1回 → (R6) 4回	2回	2回	3回	3回	4回
◇出前講座・技術講習の実施回数 (R1) - → (R6) 3回	1回	2回	2回	3回	3回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
◆インターンシップを通して、専門性を向上させるとともに、勤労観・職業観を育み、キャリア教育を充実させます。 ◇インターンシップ参加人数（延べ人数） （R1）3人 → （R6）25人	5人	10人	15人	20人	25人
◆農業に関する専門的な知識・技術を習得させ、将来に生かせる資格取得を推進します。 ◇日本農業技術検定3級卒業時合格率 （R1）50% → （R6）85% ◇アグリマイスター顕彰制度シルバー、ゴールド認証生徒数 （R1）8人 → （R6）15人 ◇職業資格（各科推奨する資格1以上）の卒業時取得率 （R1）40% → （R6）80%	55%	60%	75%	80%	85%
8人	9人	10人	12人	15人	
45%	50%	60%	70%	80%	
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進					
に対応した取組					
◆エシカル消費の取組を一層推進し、普及・啓発活動をリードします。 ◇エシカル消費の普及・啓発・研究活動の実践数 （R1）6件 → （R6）6件 ◇エシカル消費の認知度（耕心祭でのアンケート調査） （R1）45% → （R6）70% ◇「そよかぜ」での地産地消による農産物の顧客満足度（アンケート調査） （R1）－ → （R6）90%	6件	6件	6件	6件	6件
50%	55%	60%	65%	70%	
50%	60%	70%	80%	90%	
◆持続可能な循環型社会を構築するための環境保全型農業を推進します。 ◇環境保全型農業(有機農業・資源循環型農業等)での生産作目数 （R1）1種類 → （R6）2種類	1種類	1種類	2種類	2種類	2種類
◆食品安全・労働安全・環境保全に配慮した農業生産・食品加工を実践します。 ◇GAP手法による農業生産の実践作目数（うち認証取得数） （R1）1種類（1） → （R6）3種類（1） ◇HACCP手法による食品衛生管理の実践加工品数（うち認証取得数） （R1）－ → （R6）3品（1）	1種類	1種類	2種類	2種類	3種類
1品	1品	2品	2品	3品	
◆地域の工芸作物・食材を継承・発掘し、活用する中で、地域の伝統文化や郷土愛を育みます。 ◇教材活用品目数（累計） （R1）3品 → （R6）6品	3品	4品	4品	5品	6品
◆農業学習を通して、防災意識を高め自主的に行動できる人材を育てます。 ◇地域防災活動への参加人数（累計） （R1）20人 → （R6）120人	40人	60人	80人	100人	120人

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆体験入学やオープンスクールを工夫し、中学生の農業科の学習に対する興味・関心を高めます。 ◇オープンスクール参加中学生数 (R1) 25人 → (R6) 75人 ◇オープンスクール、体験入学での中学生の満足度 (アンケート実施) (R1) - → (R6) 100% ◆交流活動や販売実習を生かして農業教育の魅力をPRします。 ◇そよかぜ農園連携事業での参加児童の満足度 (アンケート実施) (R1) 100% → (R6) 100% ◇校内農産物販売所「そよかぜ」の来場者数(年平均) (R1) 30人 → (R6) 60人 ◆ホームページやマスコミを通じて学習の成果を広く発信します。 ◇学校ホームページでの各学科取組内容の更新回数 (R1) - → (R6) 4学科各5回以上 ◆一般の方や中学生への学校農業クラブ活動に関する広報を進め、学校農業クラブ県大会への参加者を増やし、学校農業クラブ活動の認知度を高めます。 ◇県予選会・年次大会等への参加者数 (R1) - → (R6) 60人 ◇入学生の学校農業クラブ活動認知度 (R1) - → (R6) 50%	35人	45人	55人	65人	75人
	80%	80%	90%	90%	100%
	100%	100%	100%	100%	100%
	40人	45人	50人	55人	60人
	4回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上
	10人	20人	20人	20人	60人
	10%	20%	20%	30%	50%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
城西高校 【総合学科】(商業に関する教育)					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組					
◆地域企業等と連携し、地域理解を深める学習を通して、将来のスペシャリストや地域産業の担い手の育成をします。					
◇企業・官公庁等や地域の有識者の講演回数 (R1) - → (R6) 3回	1回	1回	2回	3回	3回
◇各種企業の見学・インターンシップへの生徒参加率 (R1) - → (R6) 100%	50%	50%	70%	90%	100%
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組					
◆企業や大学の協力を得て、ICTを効果的に活用し、複合的な専門知識や技術の高度化に対応した教育を推進します。					
◇地元企業での先端技術に関する学習回数 (R1) - → (R6) 2回	1回	1回	1回	2回	2回
◇タブレット端末学習を導入している大学での学習回数 (R1) - → (R6) 2回	1回	1回	1回	2回	2回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進					
に対応した取組					
◆SDGsの目標達成へ向けた教育内容を科目に位置づけ、生徒の理解と実践力を育てます。					
◇SDGsに関する学習回数 (R1) - → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
◆産業界で必要な専門知識の高度化に対応した実践教育を推進します。					
◇全国商業高等学校協会主催検定1級二種目以上取得率 (R1) - → (R6) 50%	10%	20%	30%	40%	50%
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組					
◆商業系列の学習の魅力を感じられる体験入学やオープンスクールを工夫し、中学生の関心を高めます。					
◇中学生体験入学の受講者満足度(アンケート実施) (R1) - → (R6) 100%	70%	70%	80%	90%	100%
◆商業系列の学習内容をホームページで積極的に情報発信します。					
◇ホームページ更新回数 (R1) - → (R6) 5回	3回	3回	3回	5回	5回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
城西高校神山校 【農業科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆コンソーシアム（地域協働体の組織）による地域と協働した人材育成の取組を推進します。 ◇生徒が食の6次産業化の手法・戦略を指導する回数 （R1）1回 → （R6）3回	1回	2回	2回	3回	3回
◆農業や農業関連産業の職に興味を持たせる教育活動を推進します。 ◇県内外農業関連教育機関及び法人等への進学・就職率 （R1）4% → （R6）30%	10%	15%	20%	25%	30%
◇日本農業技術検定3級の合格率（卒業時取得率） （R1）40% → （R6）90%	50%	60%	70%	80%	90%
◆学校設定科目を通じた地域連携を推進します。 ◇農業・環境・食品関係の講演会の実施数（累計） （R1）2件 → （R6）3件	2件	3件	3件	3件	3件
◇生産・加工に関する地域連携活動の実施数（累計） （R1）7件 → （R6）10件	10件	10件	10件	10件	10件
◆農業の視点を取り入れた海外留学や国際交流を推進します。 ◇海外留学で農業を学ぶ生徒数 （R1）6人 → （R6）6人	6人	6人	6人	6人	6人
◇神山町国際交流プロジェクトに参加している海外の中高生とともに職場体験実習に取り組む生徒数 （R1）－ → （R6）6人	2人	3人	4人	5人	6人
◇ホストタウン相手国等との食の文化交流活動の実施数 （R1）2件 → （R6）2件	2件	2件	2件	2件	2件
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆ICTやAIを活用した農業教育を推進します。 ◇パソコンを活用した調べ学習の実施回数 （R1）2回 → （R6）7回	3回	4回	5回	6回	7回
◇課題研究等の授業における最新機械の活用時間数 （3Dプリンター・レーザーカッター等） （R1）10時間 → （R6）10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間
◇ICT・AI関係の講師による出前授業の実施回数 （R1）2回 → （R6）3回	3回	3回	3回	3回	3回
◆高度な農業技術と社会性を身につけるためのキャリア教育を推進します。 ◇農業や農業関連産業の職場体験やインターンシップの体験数 （累計） （R1）2件 → （R6）6件	2件	3件	4件	5件	6件
◆高い専門性を持ったスペシャリストの育成を推進します。 ◇農業関連の技能検定及び資格取得率（卒業時取得率） （R1）60% → （R6）100%	60%	70%	80%	90%	100%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆SDGsの理念に通じる取組に関する教育を進め、持続可能な社会づくりの担い手を育成します。</p> <p>◇SDGsを取り入れた出前授業の実施回数 (R1) 3回 → (R6) 3回</p> <p>◇SDGsに関する講演会の実施回数 (R1) - → (R6) 1回</p> <p>◇SDGsに関する発表会への参加回数 (R1) 1回 → (R6) 3回</p>					
<p>【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学校や地域の方々に神山校の学びを理解してもらおうとともに、全国規模のコンテストやイベントへの参加を推進します。</p> <p>◇農業環境系のサミットやフォーラムへの参加・発表回数 (R1) 1回 → (R6) 2回</p> <p>◇校庭マルシェ等の来場者数 (R1) 300人 → (R6) 500人</p> <p>◇オープンスクールや学校説明会の満足度(アンケートの実施) (R1) 60% → (R6) 100%</p> <p>◇中学校・地域への活動報告発表会の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 2回</p>					
	3回	3回	3回	3回	3回
	1回	1回	1回	1回	1回
	1回	2回	2回	3回	3回
	2回	2回	2回	2回	2回
	300人	350人	400人	450人	500人
	70%	70%	80%	90%	100%
	2回	2回	2回	2回	2回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
徳島科学技術高校 【工業科】					
【方策1】地域課題の解決に挑戦 に対応した取組					
◆工業の各分野などの学習を通して身に付けた知識や技術などを活用し、職業資格の取得や競技会へ出場することにより、自ら学ぶ意欲を高めるなどの教育活動を推進します。 ◇各種コンテスト・競技会の四国大会・全国大会への出場回数 (R1) 10回 → (R6) 14回	10回	10回	12回	12回	14回
◆地域、企業、関係機関との連携により、工業分野に興味・関心を持たせ、将来、地域産業の発展に貢献する担い手となる人材育成を推進します。 ◇インターンシップへの参加人数 (R1) 65人 → (R6) 80人	65人	70人	70人	75人	80人
◆地域産業界や他の専門高校と協働しながら新しい価値を生み出す主体性や創造性を育成する6次産業化教育を推進します。 ◇6次産業化教育の実施 (R1) 推進 → (R6) 推進	推進				→
◆グローバル人材育成のために、海外の職業学校との技術交流を通じて海外への視野を広げ、国際感覚を育てるための教育を推進します。 ◇ドイツ・ブリンクシュトラーセ職業学校との交流回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆先端技術に対応した工業に関する教育を推進するために、企業、大学、関係機関と積極的に連携し、工業分野の学習の充実を図ります。 ◇企業・大学見学の実施回数 (R1) 26回 → (R6) 30回	26回	28回	28回	30回	30回
◇大学、企業等から外部講師を招聘した講義等の実施回数 (R1) 12回 → (R6) 15回	12回	12回	13回	14回	15回
◆技術革新に対応できる高い専門性と実践的な指導力を身に付けるため、企業や高等教育機関等を活用した教員研修の充実を図ります。 ◇全国工業高等学校長協会等が主催する研修会等への参加人数 (R1) 2人 → (R6) 3人	2人	2人	3人	3人	3人
◆SSH（スーパーサイエンスハイスクール）課題研究等を通して、科学的視野を持って工業に関する課題を発見し、他者と協働しながら主体的に課題解決できる知識と技術を身に付ける学習を推進します。 ◇課題研究発表会の実施回数 (R1) 10回 → (R6) 10回	10回	10回	10回	10回	10回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>◆グローバルに理解することができる理工学コンピテンスを備えた人材を育成するために、SSH事業を通して、STEAM教育を推進します。</p> <p>◇SSH事業の実施 (R1) 推進 → (R6) 推進</p>	推進				→
<p>【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆環境問題や省エネルギーに対応した学習内容を充実させ、工業教育における持続可能な開発のための教育(ESD)を推進します。</p> <p>◇環境・エネルギー等に関する実習・課題研究のテーマ数 (R1) 9テーマ → (R6) 12テーマ</p>	9テーマ	10テーマ	10テーマ	12テーマ	12テーマ
<p>◆防災やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習を充実させ、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。</p> <p>◇防災・ユニバーサルデザインに関する実習・課題研究のテーマ数 (R1) 1テーマ → (R6) 3テーマ</p>	1テーマ	2テーマ	2テーマ	3テーマ	3テーマ
<p>【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学生や保護者等に対する工業の学習についての理解・関心を高め、中学生の進路選択につなげるために、体験活動を推進します。</p> <p>◇徳島県高校生産業教育展での体験ブースの出展数 (R1) 1ブース → (R6) 2ブース</p>	1ブース	1ブース	2ブース	2ブース	2ブース
<p>◇中学生体験入学参加者の満足度(アンケート実施) (R1) 93% → (R6) 95%</p>	93%	95%	95%	95%	95%
<p>◆地域の小・中学生を対象とした出前授業などの教育活動を充実し、科学や技術に対して興味・関心を持たせ、工業教育の魅力をPRします。</p> <p>◇出前授業等の実施回数 (R1) 2回 → (R6) 4回</p>	2回	2回	3回	3回	4回
<p>◆ICTを活用し、実習や課題研究、SSHの取組等をホームページに掲載することで情報発信の充実を図ります。</p> <p>◇ホームページへの掲載回数 (R1) 25回 → (R6) 40回</p>	30回	30回	35回	35回	40回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
徳島科学技術高校 【水産科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆将来の地域水産業の担い手を育成するために、地域の漁業組合や企業等と連携し、漁業実習などの様々な体験を通して水産業への理解を深める教育を推進します。 ◇漁業実習や見学会の実施回数 (R1) 3回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
◆グローバル人材育成のために、海外の職業学校との交流を通じて海外への視野を広げ、国際感覚を育てるための教育を推進します。 ◇台湾国立蘇澳高級水産海事職業学校との交流回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆徳島県農林水産総合技術支援センター水産研究課や徳島大学水圏教育研究センター、大学等と連携し、海藻種苗生産などの先端技術に対応した学習を推進します。 ◇先端技術などを導入した講義の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 3回	1回	1回	2回	2回	3回
◆四国運輸局や企業等と連携し、内航船などのインターンシップや造船所見学などを通して、専門性の向上やキャリア教育の充実を図ります。 ◇インターンシップ、見学会などの実施回数 (R1) 2回 → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回
◆生徒研究発表会や意見・体験発表会への参加や資格取得を奨励し、高い専門性を持ったマリンマイスターの育成を図ります。 ◇マリンマイスター認定生徒数 (R1) 7人 → (R6) 10人	7人	7人	8人	9人	10人
【方策3】 持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆持続可能な社会づくりに向けて、環境や人、社会、地域などに配慮した「エンカル消費」を推進します。 ◇未利用水産資源を使った防災食の出前授業の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
◆徳島県沿岸の海洋環境や藻場についての調査を実施し、環境保全活動を通して自然や文化を次世代につなぐ教育を推進します。 ◇フィールドワーク等による海洋環境の調査回数 (R1) 2回 → (R6) 4回	2回	3回	3回	4回	4回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆水産・海洋の学習についての中学生，保護者等の理解・関心を高め，中学生の進路選択につなげるため，体験学習や地域交流を推進します。</p> <p>◇実習船「阿州丸」による体験航海の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 2回</p> <p>◇未利用水産資源を使った防災食の出前授業の実施回数(再掲) (R1) 1回 → (R6) 1回</p> <p>◇中学生体験入学参加者の満足度(アンケート実施) (R1) 93% → (R6) 95%</p> <p>◆ICTを活用し，海洋実習や課題研究，SSHの取組をホームページに掲載することで情報発信の充実を図ります。</p> <p>◇ホームページへの掲載回数 (H30) 35回 → (R6) 40回</p>	1回	1回	1回	2回	2回
	1回	1回	1回	1回	1回
	93%	95%	95%	95%	95%
	40回	40回	40回	40回	40回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
徳島科学技術高校 定時制 【工業科】 【方策1】地域課題の解決に挑戦 に対応した取組 ◆職業資格の取得や競技会への出場などを通して、自ら学ぶ意欲を高めるなどの教育活動を推進します。 ◇各種資格・検定の受験率(延べ受験者数/在籍生徒数) (R1) 1.4倍 → (R6) 1.7倍 ◆地域、企業、関係機関との連携を強化し、インターンシップや外部講師によるガイダンスを通して、キャリア教育を推進します。 ◇外部講師等による進路選択のためのガイダンスの実施回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1.5倍	1.5倍	1.6倍	1.7倍	1.7倍
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組 ◆技術革新に対応できる高い専門性と実践的な指導力を身に付けるため、企業や高等教育機関等を活用した教員研修の充実を図ります。 ◇各種研修会等への参加教員数 (R1) 1人 → (R6) 3人	1回	1回	1回	1回	1回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆防災やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習内容の充実を図ります。 ◇防災・ユニバーサルデザインに関する実習・課題研究のテーマ数 (R1) - → (R6) 1テーマ	2人	2人	3人	3人	3人
【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆徳島県高校生産業教育展の更なる活性化を図ります。 ◇実習や課題研究での作品の展示・説明等による日頃の学習成果の発信 (R1) 推進 → (R6) 推進	1テーマ	1テーマ	1テーマ	1テーマ	1テーマ
	推進				→

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
徳島商業高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組					
◆コミュニケーション能力やビジネス実践力を育成するとともに新たな価値を創造する力を育成する教育を推進します。					
◇キャリア教育推進のための社会人講師の招聘講座数 (R1) 3講座 → (R6) 3講座	3講座	3講座	3講座	3講座	3講座
◇地元企業等に対するビジネスアイデアの提言件数 (R1) 2件 → (R6) 6件	2件	3件	4件	5件	6件
◇職場体験実習、インターンシップ等の協力事業所数 (R1) 6社 → (R6) 10社以上	10社以上	10社以上	10社以上	10社以上	10社以上
◆国際社会の多様性を学び、コミュニケーション能力やグローバルな視野を養うとともに、地域資源や観光資源を開発・活用することにより、地域活性化を担う人材を育成する教育を推進します。					
◇外国人との交流による国際理解教育の実施回数 (R1) 3回 → (R6) 3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上
◇全国商業高等学校協会主催英語検定2級以上取得率 (3年取得者数/3年生数) (R1) 4% → (R6) 20%	10%	15%	20%	20%	20%
◇観光商品の企画や地域観光資源のブランド力向上等に向けた取組件数 (R1) - → (R6) 3件以上	3件以上	3件以上	3件以上	3件以上	3件以上
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組					
◆経営資源をマネジメントすることにより、新たな事にチャレンジして新たな価値を創造できる人材を育成するため、起業家教育を推進します。					
◇地域資源を活用した6次産業化商品の開発数 (R1) 2品 → (R6) 2品	2品	2品	2品	2品	2品
◇起業家等と連携した学習活動(授業、イベント等)回数 (R1) 2回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
◆ビジネスに関する先端技術やビッグデータを活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業に関する学習の充実を図ります。					
◇先端技術を導入している企業、大学等での学習回数 (R1) - → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回
◇産・学・官連携事業の実施回数 (R1) 2回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆キャリア教育や消費者教育の更なる充実により，SDGs達成の基礎となるエシカル消費教育に取り組み，環境，経済社会の統合的発展を担う人材を育成します。</p> <p>◇フェアトレードによる商品開発数（累計） （R1）1品 → （R6）6品</p> <p>◇エシカル消費推進のための活動回数 （啓発活動，フェアトレード商品販売等） （R1）－ → （R6）5回</p> <p>◆資格取得等を通して，ビジネス活動に役立つ知識や技術を身につけ，地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。</p> <p>◇全国商業高等学校主催検定1級三種目取得率 （3年取得者数／3年生数） （R1）7% → （R6）25%</p> <p>◇日本商工会議所主催簿記検定2級，ITパスポート試験資格取得率 （3年取得者数／3年生数） （R1）4% → （R6）15%</p> <p>◇商業関係各種競技会における全国大会出場種目数 （R1）2種目 → （R6）6種目</p> <p>◆将来のビジネスリーダーを育成するため，高等教育機関への進学に，より対応した教育課程を編成するなどの取組を推進します。</p> <p>◇進学希望者を支援する教育環境の整備 （R1）－ → （R6）推進</p>	2品	3品	4品	5品	6品
	3回	3回	5回	5回	5回
	15%	20%	25%	25%	25%
	15%	15%	15%	15%	15%
	4種目	5種目	6種目	6種目	6種目
	推進				→
<p>【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学生や保護者等に商業の学習についての理解・関心を高め，中学生の進路選択につなげるため，地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>◇各種イベントでの商品企画や販売活動（徳商デパート等）回数 （R1）2回 → （R6）3回</p> <p>◇体験入学参加時の専門教科授業参加者の満足度 （R1）－ → （R6）100%</p> <p>◆国際理解教育や観光教育に関する活動や地元企業をPRするデジタルコンテンツによる情報を発信します。</p> <p>◇国際理解教育や観光教育に関するデジタルコンテンツ作成数 （R1）2作品 → （R6）3作品</p> <p>◇学校Webページの更新回数 （R1）600回 → （R6）700回</p>	3回	3回	3回	3回	3回
	80%	80%	90%	90%	100%
	3作品	3作品	3作品	3作品	3作品
	650回	650回	700回	700回	700回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
小松島西高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進					
に対応した取組					
◆地域に必要とされるビジネスマンを育成するため、一般常識やコミュニケーション能力等を身に付ける教育を推進します。					
◇全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定3級合格率 (R1) 70% → (R6) 90%	70%	75%	80%	85%	90%
◆地域資源を活かしたアイデアを創造し、地域産業に貢献できる能力や人材の育成を推進します。					
◇ビジネスアイデアコンテスト等への参加回数 (R1) 1回 → (R6) 2回	1回	1回	2回	2回	2回
【方策2】先端技術を活用した教育の推進					
に対応した取組					
◆時代に対応できるマネジメント能力や起業家精神を育成するために、起業家や経営者等との連携を推進します。					
◇講演会等の実施回数 (R1) 2回 → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回
◆課題解決能力を身に付け、多様化する経済社会に自ら進んで取り組む態度を養う教育を推進します。					
◇課題研究を通じた自己効力感の獲得率 (R1) 70% → (R6) 90%	70%	75%	80%	85%	90%
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進					
に対応した取組					
◆SDGsを理解し、貢献する知識や態度を備えた人材を育成するために、ESDを推進します。					
◇SDGsに関する講座及び講演会等の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
◆将来職業人として必要な資質や能力を養うため、地域と連携したキャリア教育の更なる充実を図ります。					
◇地域連携型キャリア教育プログラムの実施満足度 (R1) 80% → (R6) 100%	80%	85%	90%	95%	100%
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信					
に対応した取組					
◆企業や行政等と連携し、イベントの共同企画・運営を実践することで商業教育の魅力を発信する教育を推進します。					
◇徳島ヴォルティスのホームゲームプロデュースイベント (スタジアム学園祭) への参加回数 (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
◆商業科の学習や取組についての中学生や保護者等の理解・関心を高め、進路選択につなげるための情報を発信する機会づくりを推進します。 ◇ホームページやSNSを活用した商業科に関する活動の情報発信回数 (R1) 12回 → (R6) 17回	13回	14回	15回	16回	17回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
小松島西高校勝浦校 【農業科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆将来の地域農業や農業関連産業の担い手を育成するため、社会の中で活用できる専門的な知識・技術を身に付けるとともに、農業、農業関連産業への理解を深める教育を推進します。 ◇農業及び農業関連企業・法人・大学等への就職・進学率 (R1) 15% → (R6) 30%	20%	25%	30%	30%	30%
◆地域や産業界と連携した6次産業化教育や起業家教育を推進します。 ◇地域の農産物を利用した加工品等の開発・製造数(累計) (R1) 1件 → (R6) 5件	1件	2件	3件	4件	5件
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆インターンシップや就業体験を通して、専門性の向上やキャリア教育を推進します。 ◇「勝浦塾」等における先進農家や企業・事業所等での就業体験の実施件数 (R1) 1件 → (R6) 6件	2件	3件	4件	5件	6件
◆各種資格取得を推奨し、高い専門性を持ったスペシャリストの育成を図る教育を推進します。 ◇刈払機取扱作業安全衛生教育の修了者割合 (R1) 87.7% → (R6) 100%	100%	100%	100%	100%	100%
◇取得・合格に向けた補習を実施する資格・検定数 (R1) 7種類 → (R6) 10種類	7種類	8種類	9種類	10種類	10種類
【方策3】 持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆持続可能な生産とともに、環境、人、社会、地域に配慮した「エシカル消費」教育を推進します。 ◇「エシカル消費」の推進や「GAP, HACCP」に関する教育の実践件数 (R1) 3件 → (R6) 8件	4件	5件	6件	7件	8件
◆伝統文化の継承、絶滅危惧種の保護活動など郷土の文化を次世代につなげる教育を推進します。 ◇人形浄瑠璃の校外での公演件数 (R1) 7件 → (R6) 12件	8件	9件	10件	11件	12件
◇ジンリョウユリ等の絶滅危惧種や希少植物の保護・保全活動及び上勝町棚田の保全活動の実施件数 (R1) 5件 → (R6) 7件	5件	6件	6件	7件	7件

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆農業の学習についての中学生，保護者等の理解・関心を高め， 中学生の進路選択につなげるため，体験活動や地域交流を推進 します。 ◇収穫祭における来場者数 (R1) 300人 → (R6) 400人 ◇地域の小・中学校，特別支援学校等との交流件数 (R1) 10件 → (R6) 15件 ◇地元病院，老人施設等との交流件数 (R1) 11件 → (R6) 15件 ◆ICTを活用し，ホームページ等での情報発信の充実を図りま す。 ◇ホームページの更新回数 (R1) 78回 → (R6) 100回	320人	340人	360人	380人	400人
	11件	12件	13件	14件	15件
	11件	12件	13件	14件	15件
	80回	85回	90回	95回	100回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
富岡東高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組 ◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心をもち、将来、地域産業の発展に貢献し、担い手となる人材の育成を推進します。 ◇2年次インターンシップ実施率 (R1) 100% → (R6) 100% ◇阿南商工会議所主催販売活動等への参加回数 (R1) 1回 → (R6) 3回	100%	100%	100%	100%	100%
	3回	3回	3回	3回	3回
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組 ◆商業に関する先端技術やビッグデータを活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。 ◇先端技術を導入している企業、大学等での学習回数 (R1) 1回 → (R6) 3回 ◆教職員が知識・技術の進展に対応し、専門性を高めるとともに新しい指導方法を身に付けられるよう研修の機会等の充実を推進します。 ◇ICT活用授業を中心とした相互授業参観の実施回数 (R1) 4回 → (R6) 4回	1回	1回	2回	2回	3回
	4回	4回	4回	4回	4回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆SDGsの理念に通じる取組に関する教育を進めることで、持続可能な社会づくりの担い手を育成します。 ◇ESDに関する講演会の実施回数 (R1) 2回 → (R6) 3回 ◆商業の関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。 ◇外部講師による講習会の実施回数 (R1) 4回 → (R6) 4回 ◇全国商業高等学校協会主催検定1級三種目以上取得率(3年卒業時) (R1) 13% → (R6) 30% ◇日本商工会議所主催簿記検定2級取得率(合格数/受験者数) (R1) 25% → (R6) 25% ◇1・2年次における専門学校主催高等学校簿記対抗戦参加率 (R1) 100% → (R6) 100%	2回	2回	2回	3回	3回
	4回	4回	4回	4回	4回
	20%	20%	30%	30%	30%
	25%	25%	25%	25%	25%
	100%	100%	100%	100%	100%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学生や保護者等に商業の学びについての理解を深めてもらい、中学生の進路選択へつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>◇中学生体験学習時の商業系授業参加者の満足度 (アンケート実施) (R1) 89% → (R6) 100%</p> <p>◇商業科活動内容の学校ホームページへの掲載回数 (R1) - → (R6) 5回</p>					
	90%	90%	95%	95%	100%
	3回	3回	4回	4回	5回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
阿南光高校 【工業科】					
【方策1】地域課題の解決に挑戦 に対応した取組					
◆人口流出や少子化による後継者不足解決に向け、地元の良さをPRし、地域産業の担い手を育成します。					
◇企業等との連携による、地元の良さや地元企業の技術の高さを学ぶための出前授業等の実施回数 (R1) - → (R6) 3回	1回	2回	2回	3回	3回
◇就職希望者における地元企業への希望者比率 (R1) 73% → (R6) 80%	75%	75%	78%	78%	80%
◆地場特産物を生かした商品づくりに、工業の知識・技術で貢献します。					
◇商品づくりに必要な器具の製作件数 (R1) - → (R6) 1件	1件	1件	1件	1件	1件
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆先端技術を有する企業や大学等との連携により先端技術教育を推進します。					
◇大学・公的機関・企業と連携した講演、特別授業の回数 (R1) 1回 → (R6) 3回	1回	2回	2回	3回	3回
◇ドローンやロボット等を活用した先端技術・技能の習得を目指した体験的な取組の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 3回	2回	3回	3回	3回	3回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆工業分野の知識・技術の学習を通して、持続可能な社会づくりを推進します。					
◇クリーンエネルギーに関する授業や取組の実施件数 (R1) 1件 → (R6) 2件	1件	2件	2件	2件	2件
◇企業でのゼロエミッションに関する授業や取組の実施回数 (R1) - → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
◇工業系の資格・検定の受験率 (延べ受験者数/全工業科生徒数) (R1) 1.5倍 → (R6) 1.8倍	1.6倍	1.7倍	1.7倍	1.8倍	1.8倍
【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組					
◆中学生の工業に対する興味関心を喚起します。					
◇地元の中学生対象の出前授業、体験授業の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 3回	1回	2回	2回	3回	3回
◆工業科の取組をホームページで発信し、地域・保護者に開かれた学校づくりを推進します。					
◇学校ホームページの工業科の更新回数 (R1) 10回 → (R6) 20回	20回	20回	20回	20回	20回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
阿南光高校 【産業創造科】（農業に関する教育）					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆本県の基幹産業である「農業」の担い手を育成するため、専門的な知識と技術を身に付けるとともに、将来の農業・農業関連産業のあるべき姿を創造できる教育を推進します。					
◇県内の農業・農業関連産業への就職者数 (R1) 5人 → (R6) 7人	5人	6人	6人	7人	7人
◇四年制大学の農学系や農業大学校等への進学者数 (R1) 5人 → (R6) 7人	5人	6人	6人	7人	7人
◆JA等の地域産業と連携して「商品開発」を行い、地方創生に資する取組を推進します。					
◇地域資源を活かした6次産業化商品の開発件数（累計） (R1) 1件 → (R6) 3件	2件	2件	2件	3件	3件
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆新野キャンパスのハイテク施設「植物工場ラボ」の活用やスマート農業に対応した学習を推進します。					
◇「植物工場ラボ」を活用した植物の種類数（累計） (R1) 3件 → (R6) 6件	4件	4件	5件	5件	6件
◇スマート農業実践先での視察研修・体験件数 (R1) - → (R6) 2件	1件	1件	1件	2件	2件
◆県、徳島大学、県教委の協定に基づき、徳島大学との高大連携教育を推進します。					
◇徳島大学教員による講座数 (R1) - → (R6) 4講座	2講座	2講座	3講座	3講座	4講座
【方策3】 持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆持続可能な「農業・農業関連産業」をめざすため、環境保全型農業を推進します。					
◇「SDGsの17の目標」において重点的に取り組んだ目標の件数（累計） (R1) 4件 → (R6) 9件	5件	6件	7件	8件	9件
◇未活用資源の有効利活用に向けた取組件数（累計） (R1) - → (R6) 2件	1件	1件	2件	2件	2件

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学生，保護者や地域住民等に対して，体験や広報を通して農業教育の魅力を発信します。</p> <p>◇「ハイテク講座」「学校開放講座」の受講者数（延べ人数） （R1）68人 → （R6）80人</p> <p>◇新聞・テレビジョンによる報道件数 （R1）4件 → （R6）6件</p>	70人	75人	75人	80人	80人
	4件	5件	5件	6件	6件

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
阿南光高校 【産業創造科】(商業に関する教育)					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組					
◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心を持ち、将来地域産業の発展に貢献する人材の育成を推進します。					
◇ビジネスアイデアの創造・発案件数 (R1) - → (R6) 3件	1件	1件	2件	2件	3件
◇新野キャンパス等を利用した地域イベントでの販売活動 プロデュース回数 (R1) - → (R6) 1回	計画	1回	1回	1回	1回
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組					
◆商業に関する先端技術を活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。					
◇商業に関する先端技術を持つ大学との連携実施回数 (R1) - → (R6) 3回	1回	1回	2回	2回	3回
◇外部講師による起業セミナーの実施回数 (R1) - → (R6) 3回	1回	1回	2回	2回	3回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆商業の関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。					
◇地元企業を知るインターンシップの受入企業数 (R1) - → (R6) 30社	計画	5社	10社	20社	30社
◇地元企業を知るインターンシップへの生徒参加率 (参加者/系選択者) (R1) - → (R6) 50%	計画	10%	15%	30%	50%
◇ビジネスに関する高度な資格の受験率(受験者/系選択者) (R1) - → (R6) 50%	10%	20%	30%	40%	50%
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組					
◆中学生や保護者等に総合学科での商業系の学びについて理解を深めてもらい、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。					
◇体験入学等での情報ビジネス系の特色ある授業展開における受講者等満足度(アンケート)(高評価者/アンケート提出者) (R1) - → (R6) 100%	70%	80%	90%	100%	100%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
那賀高校 【農業科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆地元林業事業体への見学研修や外部講師を有効に活用して、林業や関連産業に従事する意欲や関心を早期から醸成し、那賀町をはじめとする地域の林業従事者育成を目指した取組を推進します。					
◇林業事業体や関連産業等への就職割合 (R1) 44% → (R6) 45%	45%	45%	45%	45%	45%
◇大学等(林業・農業系)への進学者数(農業大学校を含む) (R1) 3人 → (R6) 3人	3人	3人	3人	3人	3人
◆林業に関する資格取得を積極的に行い、林業振興を通じて地方創生に取り組む人材の育成を推進します。					
◇林業・農業に関する資格取得数(卒業時一人あたり平均) (R1) 9種類 → (R6) 10種類	9種類	9種類	9種類	10種類	10種類
◇資格取得に関わる外部人材を活用した講座実施回数 (R1) 9回 → (R6) 10回	9回	9回	9回	10回	10回
◆森林や林業に関する県内外の先進地視察や海外研修を実施し、幅広い視点を持ち林業振興に取り組む人材の育成を推進します。					
◇森林・林業に係る県内外及び海外の視察・研修実施回数 (R1) 5回 → (R6) 5回	5回	5回	5回	5回	5回
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆林業技術の高度化に対応するため、林業事業体や関連産業へのインターンシップの実施や、高性能大型林業機械や産業用ドローンの操縦・活用技術を身に付けるための学習を推進します。					
◇林業関連産業へのインターンシップ実施率 (R1) 100% → (R6) 100%	100%	100%	100%	100%	100%
◇林業・農業に関する資格取得数(卒業時一人あたり平均) (再掲) (R1) 9種類 → (R6) 10種類	9種類	9種類	9種類	10種類	10種類
◇資格取得に関わる外部人材を活用した講座実施回数(再掲) (R1) 9回 → (R6) 10回	9回	9回	9回	10回	10回
◇高性能大型林業機械講習の実施回数 (R1) 5回 → (R6) 7回	5回	5回	6回	6回	7回
◇産業用ドローン講習の実施回数 (R1) 3回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
◆徳島大学生物資源産業学部の学問的インターンシップに参加し、大学の講義を受講するとともに、早期から大学進学意欲の醸成を推進します。また、関係機関との連携を図り、林業に関する実践的な知識・技能の深化を推進します。 ◇学問的インターンシップ等への参加者数 (R1) 3人 → (R6) 3人	3人	3人	3人	3人	3人
◇徳島森林管理署や南部総合県民局等の公的機関や民間企業から講師を招聘した出前授業の実施回数 (R1) 10回 → (R6) 10回	10回	10回	10回	10回	10回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆フォレストキャンパス那賀をはじめとする山林管理における計画的な伐採や植林を通して、持続可能な林業教育を推進します。 ◇フォレストキャンパス那賀における実習回数 (R1) 15回 → (R6) 20回	16回	16回	18回	18回	20回
◇フォレストキャンパス那賀における新規植林木数(累計) (R1) 100本 → (R6) 500本	100本	200本	300本	400本	500本
◆木材を有効に利用した新商品の開発など、6次産業化の取組を推進します。 ◇端材や再生木材(中質繊維板)を用いた新商品の開発件数(累計) (R1) 10件 → (R6) 18件	10件	12件	14件	16件	18件
【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組					
◆地元小・中学校との交流において、本校が所有する林業関連の施設・設備を有効に活用し、林業教育への興味・関心を高める取組を推進します。また、イベント参加や販売実習を通じて、本校の取組に関する広報を推進します。 ◇地元小・中学校との交流回数 (R1) 3回 → (R6) 5回	3回	3回	4回	4回	5回
◇校外のイベント参加や販売実習の実施回数 (R1) 5回 → (R6) 7回	5回	5回	6回	6回	7回
◆中学生及び保護者を対象とした地域学校説明会を開催し、林業学習への理解を促し、進学意欲の醸成を推進します。また、森林クリエイト科PR動画コンテンツの貸し出しや放映などによって、学習内容を多くの方に知ってもらう取組を推進します。 ◇中学生及び保護者を対象とした地域学校説明会の開催回数 (R1) 8回 → (R6) 8回	8回	8回	8回	8回	8回
◇校外における森林クリエイト科PR動画コンテンツの放映場所数 (R1) - → (R6) 5カ所	1カ所	2カ所	3カ所	4カ所	5カ所

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
海部高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組 ◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心を持ち、将来、地域産業の発展に貢献し、担い手となる人材の育成を推進します。 ◇2年次インターンシップ実施率 (R1) 100% → (R6) 100%	100%	100%	100%	100%	100%
◆世界の文化・商慣習の多様性を尊重し、グローバルなビジネス人材の育成を推進します。 ◇海外短期留学の推進 (R1) 推進 → (R6) 推進	推進				→
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組 ◆経営資源のマネジメントを行う能力と新たな物事にチャレンジする起業家精神の育成を推進します。 ◇次世代経営者育成プログラムに関わる外部講師の人数 (R1) 6人 → (R6) 8人	7人	7人	8人	8人	8人
◆商業に関する先端技術を活用している企業等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。 ◇先端技術を導入している地元企業での学習回数 (R1) - → (R6) 3回	2回	2回	3回	3回	3回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆商業の関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。 ◇全国商業高等学校協会主催検定1級三種目以上取得率 (3年卒業時) (R1) 19% → (R6) 30%	20%	25%	25%	30%	30%
◆SDGsに貢献するための知識、技能、価値観、態度を備えた担い手を育成する教育を推進します。 ◇SDGsに関する講座実施回数 (R1) 2回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆中学生や保護者等に商業の学習についての理解を深めてもらい、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。 ◇中学生体験入学時の授業参加者の満足度(アンケート実施) (R1) - → (R6) 100%	90%	90%	95%	95%	100%
◇在校生の授業満足度(授業評価アンケート実施) (R1) 94% → (R6) 100%	98%	98%	98%	100%	100%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
鳴門渦潮高校 【総合学科】(工業に関する教育) 【方策1】地域課題の解決に挑戦 に対応した取組 ◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、工業の分野に興味・関心をもち、将来、地域の工業の発展に貢献し、担い手となる人材の育成を推進します。 ◇2年次インターンシップ参加率 (R1) 100% → (R6) 100%	100%	100%	100%	100%	100%
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組 ◆工業関連の先端技術を導入している企業や大学等との連携により、工業技術の進展を理解させることで、工業分野の学習の充実を図ります。 ◇先端技術を導入している大学等専門機関または企業の研究・事業担当者による講義・実習の実施回数 (R1) - → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆工業の生産システムに関する知識・技術の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。 ◇工業系検定受検回数(情報通信系列生徒年間一人当) (R1) 1回 → (R6) 1回 ◇工業系資格受験回数(情報通信系列生徒年間一人当) (R1) 1回 → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆中学生や保護者等に総合学科での工業系の学びについての理解を深めてもらい、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。 ◇オープンスクール時の体験授業参加者の満足度(アンケート実施) (R1) 95% → (R6) 95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
鳴門渦潮高校 【総合学科】(商業に関する教育) 【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組 ◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心をもち、将来、地域産業の発展に貢献し、担い手となる人材の育成を推進します。 ◇2年次インターンシップ参加率 (R1) 100% → (R6) 100%	100%	100%	100%	100%	100%
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組 ◆商業に関する先端技術やビッグデータを活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。 ◇先端技術を導入している大学等専門機関または企業の研究・事業担当者による講義・実習の実施回数 (R1) - → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆商業の関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。 ◇全国商業高等学校協会主催簿記実務検定3級合格率(総合ビジネス系列生徒) (R1) 58% → (R6) 62%	58%	58%	60%	60%	62%
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆中学生や保護者等に総合学科での商業系の学びについての理解を深めてもらい、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。 ◇オープンスクール時の体験授業参加者の満足度(アンケート実施) (R1) 95% → (R6) 95%以上	95% 以上	95% 以上	95% 以上	95% 以上	95% 以上

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
吉野川高校 【農業科】					
【方策1】地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆地域での農産物の販路を拡大します。					
◇産直市やイベントの参加回数 (R1) 8回 → (R6) 8回以上	8回 以上	8回 以上	8回 以上	8回 以上	8回 以上
◇校内農産物販売所アグリ吉野川の年間販売日数 (R1) 15日 → (R6) 17日	15日	15日	16日	16日	17日
◇地域の学校給食への食材(野菜・果樹)提供回数 (R1) 2回 → (R6) 3回以上	2回 以上	2回 以上	2回 以上	3回 以上	3回 以上
◆本校商業科との連携で「吉高ブランド」の普及を目指します。					
◇6次産業化・エシカル消費に関する教育の推進 (R1) 準備 → (R6) 推進	推進				→
◇「鴨島駅前にぎわいづくり」活動実施回数 (R1) 3回 → (R6) 5回	3回	3回	4回	4回	5回
◆地元の福祉施設と交流学习を行います。					
◇園芸専攻の生徒による地域資源を活用した出前授業実施回数 (累計) (R1) - → (R6) 6回	2回	3回	4回	5回	6回
◆地元企業・団体等との環境美化活動に取り組みます。					
◇地域連携による鴨島駅前花壇等の整備活動実施回数 (R1) 2回 → (R6) 4回	2回	2回	3回	3回	4回
◆生徒・保護者の学校満足度(学校全体)の向上に努めます。					
◇生徒・保護者の満足度(アンケート調査) (R1) 80.5% → (R6) 90%以上	82% 以上	84% 以上	86% 以上	88% 以上	90% 以上
◆大学や関係機関等との連携を積極的に行います。					
◇「食品製造」(徳島文理大学・徳島大学・徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校)及び「生物活用Ⅱ」(四国大学)における出張授業や調査研究の実施回数 (R1) 2回 → (R6) 4回	2回	2回	3回	3回	4回
◇徳島県立工業技術センターでの成分分析技術研修の実施回数 (R1) - → (R6) 2回	1回	1回	1回	1回	2回
◆日本学校農業クラブの活性化に向けた取組を推進します。					
◇各科目でのプロジェクト学習の推進 (R1) 準備 → (R6) 推進	推進				→
◆次世代農業の担い手を育成します。					
◇農業関係(自営・法人等)への就職率 (R1) 20% → (R6) 30%	20%	23%	25%	28%	30%
◇農業関係(専門学校・大学等)への進学率 (R1) 5% → (R6) 10%	5%	5%	8%	8%	10%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組 ◆篤農家・企業での就業体験や講演会へ積極的に参加します。 ◇2年生を対象にしたインターンシップ事業の実施回数(累計) (R1) 1回 → (R6) 5回 ◇高度熟練技術者(野菜)による講演会への参加回数 (R1) 1回 → (R6) 2回 ◆最新品種の栽培管理や高度な技術の習得を推進します。 ◇栽培樹木の更新(果樹) (R1) 準備 → (R6) 推進 ◇栽培技術の習得(園芸) (R1) 準備 → (R6) 推進 ◆農業のユニバーサルデザイン化を推進します。 ◇ICT活用によるスマート農業の推進 (R1) 準備 → (R6) 推進 ◆専門知識と高度専門資格の取得を推進します。 ◇日本農業技術検定3級合格率 (R1) 84.2% → (R6) 89% ◇室内園芸装飾技能士3級合格率 (R1) 90% → (R6) 100% ◇フラワー装飾技能士3級合格率 (R1) 87.5% → (R6) 100%	1回	2回	3回	4回	5回
	1回	1回	1回	2回	2回
	推進				→
	推進				→
	推進				→
	85%	86%	87%	88%	89%
	90%	90%	90%	100%	100%
	90%	90%	90%	100%	100%
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆食の安全・安心に関する教育を推進します。 ◇とくしま安 ² GAP認証を踏まえたJGAP認証の取得 (R1) 推進 → (R6) 取得 ◆高品質な農産物を持続的に供給できる優れた圃場を目指します。 ◇農場収入額 (R1) 1,035万円 → (R6) 1,200万円 ◆地域伝統技術の伝承と後継者の育成を推進します。 ◇養蚕・藍染め・菊人形の伝承 (R1) 推進 → (R6) 推進 ◆農業教育の特性を生かした防災教育を推進します。 ◇田畑の活用と森林の多面的機能等に関する学習 (R1) 推進 → (R6) 推進	推進				→取得
	1,050万円	1,080万円	1,100万円	1,150万円	1,200万円
	推進				→
	推進				→

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組 ◆押し花アートや藍染め製品の普及活動に努めます。 ◇校外貸し出し展示場数 (R1) 2会場 → (R6) 5会場 ◇作品のコンクール出展による受賞者数(優秀賞以上) (R1) 2人 → (R6) 3人 ◆ホームページによる農業科の活動紹介を充実させます。 ◇生徒の活動情報の更新回数 (R1) 11回 → (R6) 35回 ◆地元小学校との交流学习で農業の楽しさをアピールします。 ◇園芸専攻の生徒による地域資源を活用した出前授業の実施回数 (R1) - → (R6) 5回 ◇農業体験(冬野菜収穫・藍染め体験)の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 5回 ◆学校開放講座による農業実践に取り組みます。 ◇学校開放講座(食品製造・押し花・藍染め)・体験入学・オープンスクールの実施回数 (R1) 5回 → (R6) 5回	2会場	3会場	3会場	4会場	5会場
	3人	3人	3人	3人	3人
	15回	20回	25回	30回	35回
	1回	2回	3回	4回	5回
	1回	2回	3回	4回	5回
	5回	5回	5回	5回	5回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
吉野川高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組					
◆地域・企業・行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心を持ち、将来、地域産業の発展に貢献し、担い手となる人材を育成します。					
◇2年生を対象に地元企業と連携したインターンシップなどの実施率 (R1) - → (R6) 100%	10%	30%	50%	70%	100%
◇地元の魅力ある観光資源を知る、フィールドワークや調べ学習の学習成果発表会実施回数 (R1) - → (R6) 1回	1回	1回	1回	1回	1回
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組					
◆商業に関する先端技術やビッグデータを活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。					
◇大学や研究機関等の外部人材の活用による高度な知識・技術の学習回数 (R1) - → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
◇先端技術を導入している地元企業での学習回数 (R1) - → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆商業関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。					
◇勤労観・職業観を確かなものにする、エシカル消費を意識した「スクールカフェ吉野川」の運営回数 (R1) 10回 → (R6) 10回	10回	10回	10回	10回	10回
◇全国商業高等学校協会主催検定3級三種目以上取得率(3年卒業時) (R1) 74% → (R6) 80%	80%	80%	80%	80%	80%
◇全国商業高等学校協会主催検定1級三種目以上取得率(3年卒業時) (R1) 3% → (R6) 5%	5%	5%	5%	5%	5%
◇「総合実践」の授業におけるビジネスマナーに関する学習活動実施回数 (R1) 5回 → (R6) 10回	6回	7回	8回	9回	10回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆中学生や保護者に商業科での学びについての理解を深めてもらい、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>◇吉野川高校通信の周辺中学校・在校生保護者等への配布回数 (R1) 1回 → (R6) 2回</p> <p>◇中学生体験学習時の商業科授業の満足度(アンケート実施) (R1) - → (R6) 100%</p> <p>◇商業科の活動のホームページでの発信回数 (R1) 7回 → (R6) 20回</p> <p>◇農業科との協働による「鴨島駅前にぎわいづくり」活動実施回数 (R1) 3回 → (R6) 5回</p>	2回	2回	2回	2回	2回
	100%	100%	100%	100%	100%
	20回	20回	20回	20回	20回
	3回	3回	4回	4回	5回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
つるぎ高校 【工業科】					
【方策1】地域課題の解決に挑戦 に対応した取組 ◆地域、企業との連携による教育を通して、工業の分野に興味関心を持ち、将来地域の発展に貢献し、担い手となる人材を育成します。 ◇6次産業化への取組 (R1) 推進 → (R6) 推進 ◇徳島県県土整備部住宅課及び徳島県建築士事務所協会による出前授業の実施 (R1) - → (R6) 実施 ◇地元企業への短期インターンシップの参加率 (R1) 40% → (R6) 50%	推進				→
	実施	実施	実施	実施	実施
	42%	44%	46%	48%	50%
【方策2】先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組 ◆工業関連の先端技術に触れ、工業技術の進展を理解させることで、工業分野の学習の充実を図ります。 ◇建築3DCAD講習の実施 (R1) - → (R6) 実施 ◆新しく導入された工作機械を使ったFA実習の充実を図ります。 ◇3DCADや3Dプリンター、MC工作機械を用いた製作実習 (R1) - → (R6) 実施	実施	実施	実施	実施	実施
	実施	実施	実施	実施	実施
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組 ◆地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。 ◇地域と連携した工場、発電所、建設工事現場等の見学会実施回数 (R1) 各科1回 → (R6) 各科1回以上 ◆国家資格合格率向上への取組を推進します。 ◇国家資格合格率向上のための指導者研修(外部研修)への参加回数 (R1) - → (R6) 1回 ◇第3種電気主任技術者試験の合格者数 (R1) 2人 → (R6) 1人以上 ◇ジュニアマイスター認定生徒割合(3年卒業時) (R1) 46% → (R6) 50%	各科 1回 以上	各科 1回 以上	各科 1回 以上	各科 1回 以上	各科 1回 以上
	1回	1回	1回	1回	1回
	1人 以上	1人 以上	1人 以上	1人 以上	1人 以上
	46%	47%	48%	49%	50%

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆地域で開催される大会，展示会，発表会等に積極的に参加することで工業科の取組を発信します。</p> <p>◇徳島県建築士会美馬地域会主催「将来住みたい家」に出品 (R1) コース全員出品 → (R6) コース全員出品</p> <p>◆中学生や保護者等に工業科での学びについて理解を深めてもらい，中学生の進路選択へとつなげるため，地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>◇工業科の取組のホームページでの配信回数 (R1) 2回 → (R6) 20回</p>	全員出品	全員出品	全員出品	全員出品	全員出品
	5回	10回	15回	18回	20回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
つるぎ高校 【商業科】					
【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組					
◆地域・企業・行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味関心を持ち、将来、地域産業の発展に貢献し、担い手となる人材を育成します。					
◇みまから唐辛子など地域資源を活用した商品やサービス等の開発及び提案件数（累計） （R1）1件 → （R6）5件	1件	2件	3件	4件	5件
◇2年次インターンシップ参加率 （R1）20% → （R6）25%	20%	20%	23%	23%	25%
◆関係機関等との多様な連携による地域の特性を生かした実践的な教育を推進します。					
◇地域の伝統や文化の継承及び地域資源を活用したビジネス化を目指した体験的・実践的学習や地域との交流活動の回数 （R1）1回 → （R6）3回	2回	2回	2回	3回	3回
◇新たな地域資源の発掘及び世界農業遺産等の情報発信回数 （R1）1回 → （R6）3回	2回	2回	2回	3回	3回
【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組					
◆ICT等の先端技術を活用している企業や大学等との連携により、企業活動の進展を理解させることで、商業分野の学習の充実を図ります。					
◇企業見学や体験学習、企業・大学等での学習回数 （R1）1回 → （R6）2回	2回	2回	2回	2回	2回
◇外部講師招聘等による高度な知識等に関する講習会実施回数 （R1）1回 → （R6）2回	2回	2回	2回	2回	2回
◆先端技術を活用した新たな商業教育の取組を推進します。					
◇電子黒板・タブレット・スマートフォン等を活用した専門分野の学習 （R1）－ → （R6）推進	推進				→
【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆商業の専門科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。					
◇地域と連携した特色ある活動を実践し、新たなビジネスアイデアを創造する学習回数（累計） （R1）1回 → （R6）5回	1回	2回	3回	4回	5回
◇地域の課題解決に向けた調査・研究の発表回数 （R1）1回 → （R6）2回	2回	2回	2回	2回	2回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
◆資格取得や実践的な教育によるキャリアアップを図り、ビジネスの様々な場面で役立つ知識・技術を身につけ、確かな学力を育成します。					
◇全国商業高等学校協会主催検定1級三種目以上取得率 (3年卒業時) (R1) 15% → (R6) 20%	15%	15%	17%	17%	20%
◇商業分野の各種競技会における四国大会以上の大会出場件数 (R1) 3件 → (R6) 3件	3件	3件	3件	3件	3件
【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組					
◆ビジネスアイデア等の研究発表や商品開発、販売実習等の取組の情報をあらゆる方法で発信します。					
◇各種メディア等での情報発信回数 (R1) 3回 → (R6) 3回	3回	3回	3回	3回	3回
◇校外での学習成果の展示・発表回数 (R1) 2回 → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回
◆中学生や保護者等の商業の学習についての理解・関心を高め、中学生の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。					
◇商業教育に関する活動のホームページにおける発信回数 (R1) 2回 → (R6) 5回	5回	5回	5回	5回	5回
◇商業科の教育活動のPR動画の上映や作品・活動パネルの展示回数 (R1) 2回 → (R6) 2回	2回	2回	2回	2回	2回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>池田高校辻校 【総合学科】(商業に関する教育)</p> <p>【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆地域、企業、行政機関等との連携による教育を通して、商業の分野に興味・関心をもち、将来、地域産業の発展に貢献できる人材の育成を推進します。</p> <p>◇地域外部人材の活用による講演及びフィールドワークの実施回数 (R1) 4回 → (R6) 5回</p> <p>◇6次産業化をはじめ、地域活性化に向けた他学科との連携活動回数 (R1) 6回 → (R6) 8回</p> <p>【方策2】先端技術を活用した教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆大学や行政機関等との連携を図り、多様で高度な学びの機会を持つことにより、商業分野の学習の充実を図ります。</p> <p>◇テレビ会議システムを利用した遠隔講座の実施回数 (R1) 1回 → (R6) 3回</p> <p>【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組</p> <p>◆商業の関連科目の学びを通して、地域社会の持続的な発展を担う人材育成につながる教育を推進します。</p> <p>◇全国商業高等学校協会主催検定1～3級の合格率(合格者数/受験者数) (R1) 84% → (R6) 80%以上</p> <p>【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆早期から商業系の学びについての理解を深めてもらい、将来の進路選択へとつなげるため、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>◇小学校、中学校での出前授業及び連携活動の実施回数 (R1) - → (R6) 2回</p>					
	5回	5回	5回	5回	5回
	6回	7回	7回	8回	8回
	2回	2回	3回	3回	3回
	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	1回	2回	2回	2回	2回

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
池田高校三好校 【農業科】					
【方策1】 地方創生に資する人材の育成 に対応した取組					
◆専門科目で習得した知識と技術を地域で活用し、主体的に地域の発展・活性化に貢献できる人材育成を推進します。 ◇地域の方を対象とした学校開放講座の開催回数 (R1) 5回 → (R6) 7回以上	5回 以上	5回 以上	6回 以上	6回 以上	7回 以上
◆農業学習の深化を図るとともに、将来の地域を支える人間性豊かな職業人として必要な資質の習得を目指し、地域や企業等と連携した地域貢献活動を推進します。 ◇学習成果を地域で活かす取組実施回数 (R1) 45回 → (R6) 70回以上	50回 以上	55回 以上	60回 以上	65回 以上	70回 以上
【方策2】 先端技術に触れる教育の推進 に対応した取組					
◆農業教育の充実を図るため、大学等の研究機関や企業との連携活動を実践します。 ◇出前・出張授業の開催回数 (R1) 7回 → (R6) 12回	8回	9回	10回	11回	12回
◆職業体験活動を通して、専門性を向上させるとともに、勤労観・職業観を育み、キャリア教育を充実させます。 ◇就業体験やインターンシップへの参加人数 (R1) 30人 → (R6) 30人以上	30人 以上	30人 以上	30人 以上	30人 以上	30人 以上
◇資格・検定取得人数 (R1) 50人 → (R6) 60人	50人	50人	55人	55人	60人
【方策3】 持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進 に対応した取組					
◆環境保全、地産地消、地域社会を考慮した専門教育を展開します。 ◇エシカル消費につながる授業研究の実施件数 (R1) 4件 → (R6) 9件	5件	6件	7件	8件	9件
◆植物培養などの専門的な技術力を生かし、地元地域の環境保護に努め、保護団体と協力した環境教育を推進します。 ◇黒沢湿原の絶滅危惧種サギソウの保護と増殖活動の実施 (R1) 推進 → (R6) 推進	推進				→
◆災害に強い森林づくりや防災に役立つ商品開発など、専門教育の特質を生かした防災教育を推進します。 ◇農場生産物を使った防災関連商品の開発 (R1) 推進 → (R6) 推進	推進				→

学校名・◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
<p>【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信 に対応した取組</p> <p>◆農業科の教育資産を活用した異校種間連携・交流活動に積極的に取り組み、農林業教育への興味・関心を高めていきます。</p> <p>◇魅力ある農林業体験・交流活動の実施回数 (R1) 4回 → (R6) 9回</p> <p>◆学校ホームページに日々の専門教育内容を掲載し、専門教育の魅力を随時発信します。</p> <p>◇ホームページの更新回数 (R1) 55回 → (R6) 80回</p>	5回	6回	7回	8回	9回
	60回	65回	70回	75回	80回

◆取組内容・◇数値目標	令和6年度までの工程				
	R2	R3	R4	R5	R6
6次産業化に対応した教育					
<p>◆6次産業化を担う人材を育成するため、県立高校において、農工商連携による、徳島ならではの地域資源を活かした、生産・加工・販売が一体化した6次産業化教育を推進します。</p> <p>◇地域の企業等で販売される6次産業化商品の開発件数(累計) (R1) - → (R6) 15件</p>	3件	6件	9件	12件	15件
<p>◆学校間連携・生徒間協働活動による6次産業化教育の取組を広め、中学生や保護者等へ農林水産業・工業・商業に関する教育の魅力を伝えるとともに、中学生の進路選択へとつなげるため、成果報告会を開催します。</p> <p>◇成果報告会の参加者数 (R1) 166人 → (R6) 250人以上</p>	180人	200人	220人	240人	250人以上